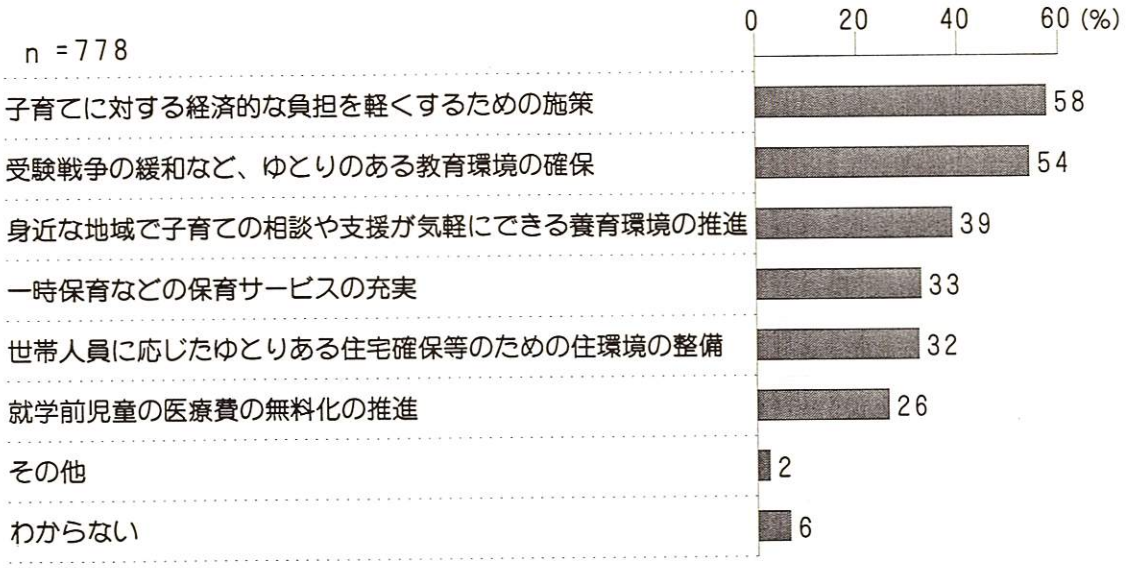
6．福祉社会

6－1．子どもの健全育成のための社会環境

問11.　子どもが健やかに生まれ育つための社会環境づくりのためにはどのような施策が必要だと思いますか。この中から主なものを3つまであげてください。

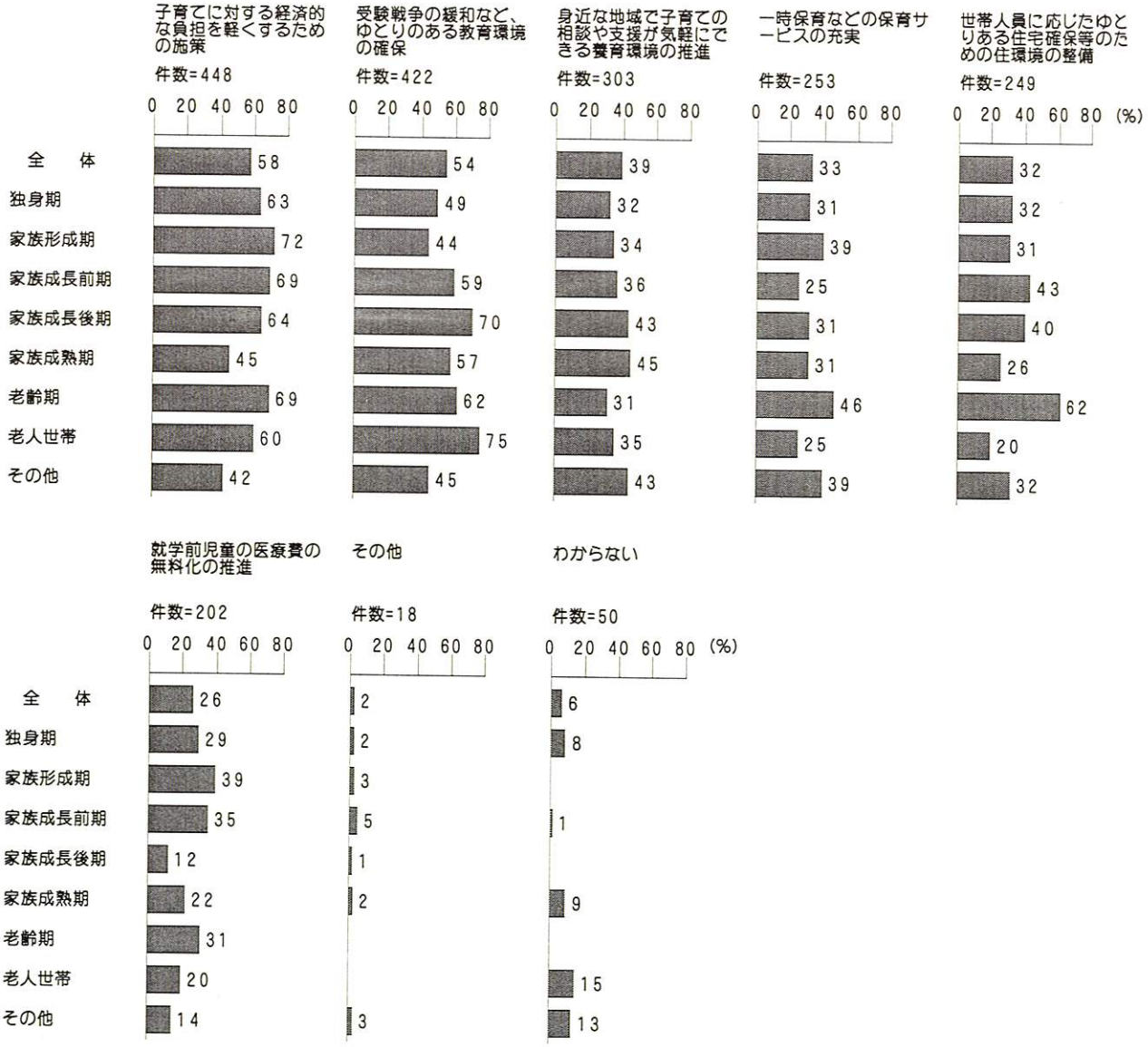
図6－1－1



子どもを健全に育成するためには、どんな施策が必要だと思うかたずねたところ、「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」が58%で最も多く、次いで「受験戦争の緩和など、ゆとりのある教育環境の確保」（54%）、「身近な地域で子育ての相談や支援が気軽にできる養育環境の推進」（39%）の順になっている。（図6－1－1）

ライフステージ別にみると、「子育てに対する経済的な負担を軽くするための施策」が家族形成期（72％）で最も高く、次に、家族成長前期（69％）、老齢期（69％）の順に高くなっている。「受験戦争の緩和など、ゆとりのある教育環境の確保」が老人世帯（75％）で最も高く、次に、家族成長後期（70％）、老齢期（62％）の順に高くなっている。また、目立ったものとしては、「就学前児童の医療費の無料化の推進」で家族形成期（39％）が高くなっている。（図６－１－２）

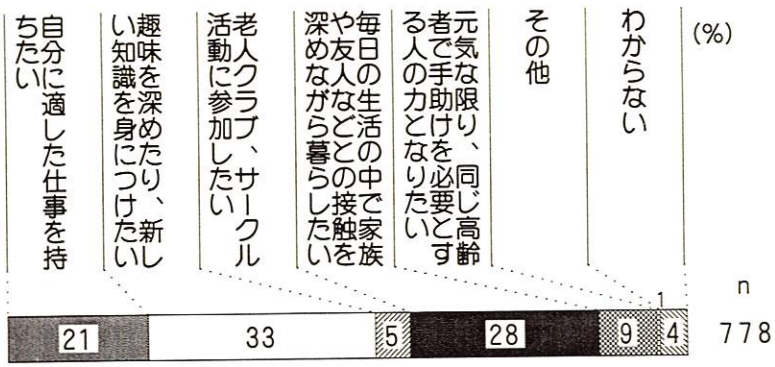
図6－1－2 子どもの健全育成のための社会環境－ライフステージ別



6－2．老後の生活

問12.　あなたは、老後をどのように暮らしていきたいと思いますか。
この中であなたのお考えに最も近いものを1つだけあげてください。

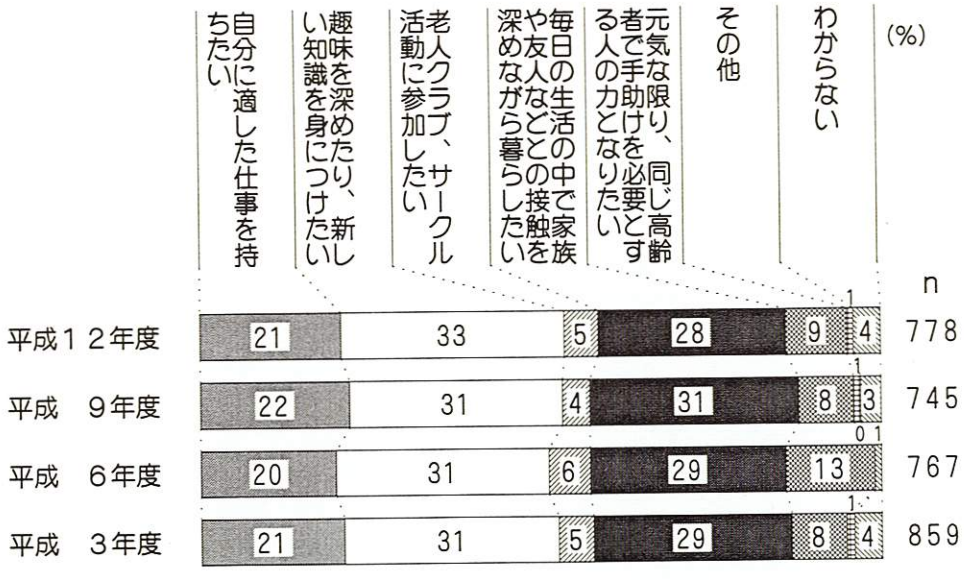
図6－2－1



老後をどのように暮らしていきたいと思うかたずねたところ、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」（33％）と「毎日の生活の中で家族や友人などとの接触を深めながら暮らしたい」（28％）が３割前後となっており、「自分に適した仕事を持ちたい」（21％）を上回っている。（図６－２－１）

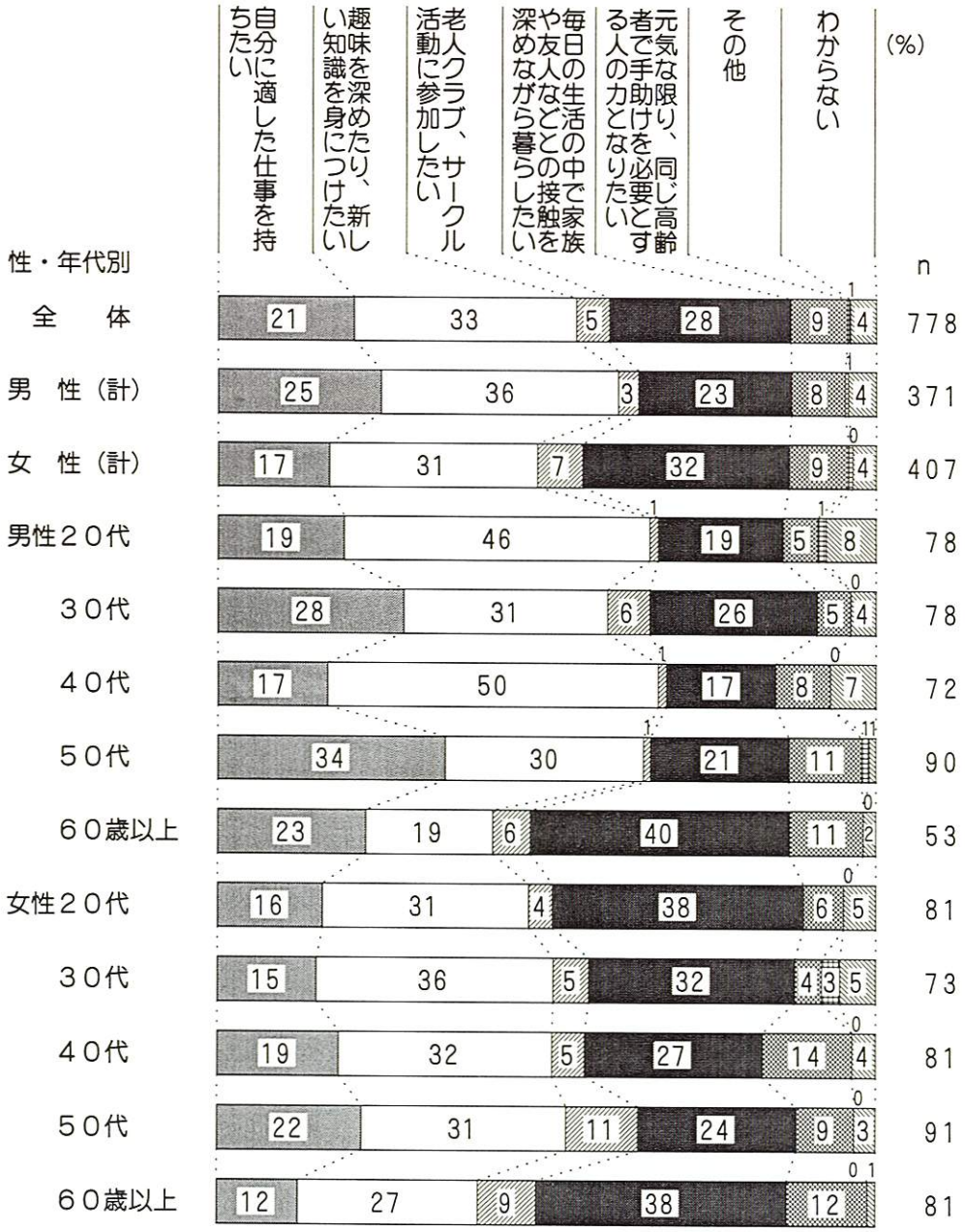
平成９年度の調査と比較すると、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」の割合が２ポイント増加し、「毎日の生活の中で家族や友人などとの接触を深めながら暮らしたい」が３ポイント減少している。（図６－２－２）

図6－2－2　老後の生活－時系列



性・年代別にみると、「自分に適した仕事を持ちたい」が男性50代（34%）で、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」が男性の20代（46%）と40代（50%）で、「毎日の生活の中で家族や友人などとの接触を深めながら暮らしたい」が男性60歳以上(40%)、女性の20代（38%）と60歳以上（38%）で特に高くなっている。（図６－２－３）

図6－2－3 老後の生活－性・年代別

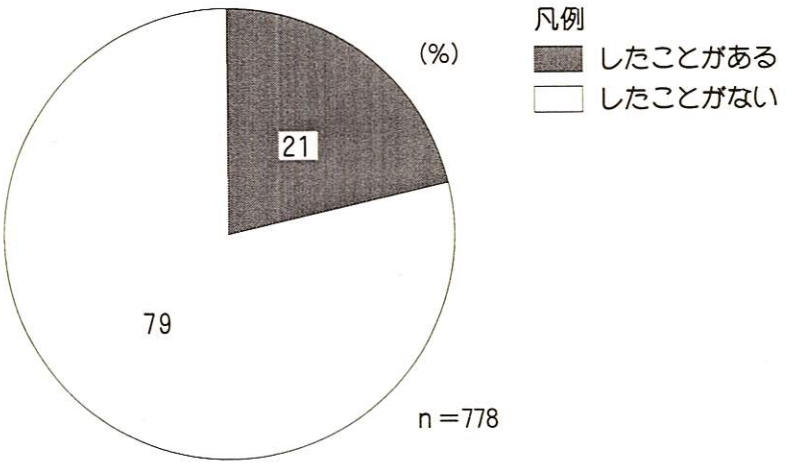


６－３．ボランティア活動の経験

問13.　お年寄りや心身に障害のある人々のために、地域でボランティア活動が行われていますが、今までに、あなたはボランティア活動に参加したことがありますか。

（１つだけ）

図6－3－1

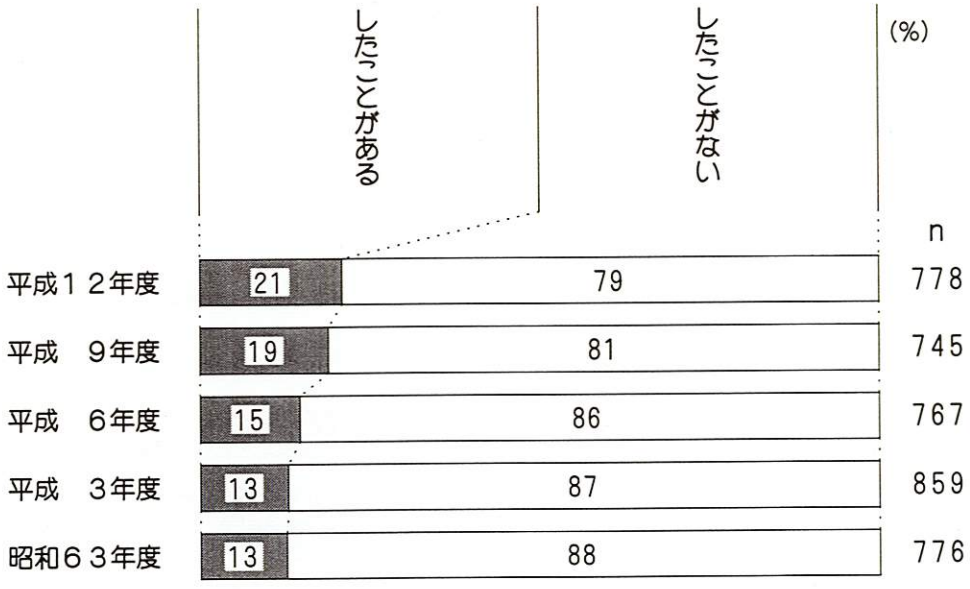


今までに、ボランティア活動に参加したことがあるかたずねたところ、「したことがない」が79％で、「したことがある」の21％を大きく上回っている。（図６－３－１）

平成９年度の調査と比較すると、「したことがある」の割合が２ポイント増加している。

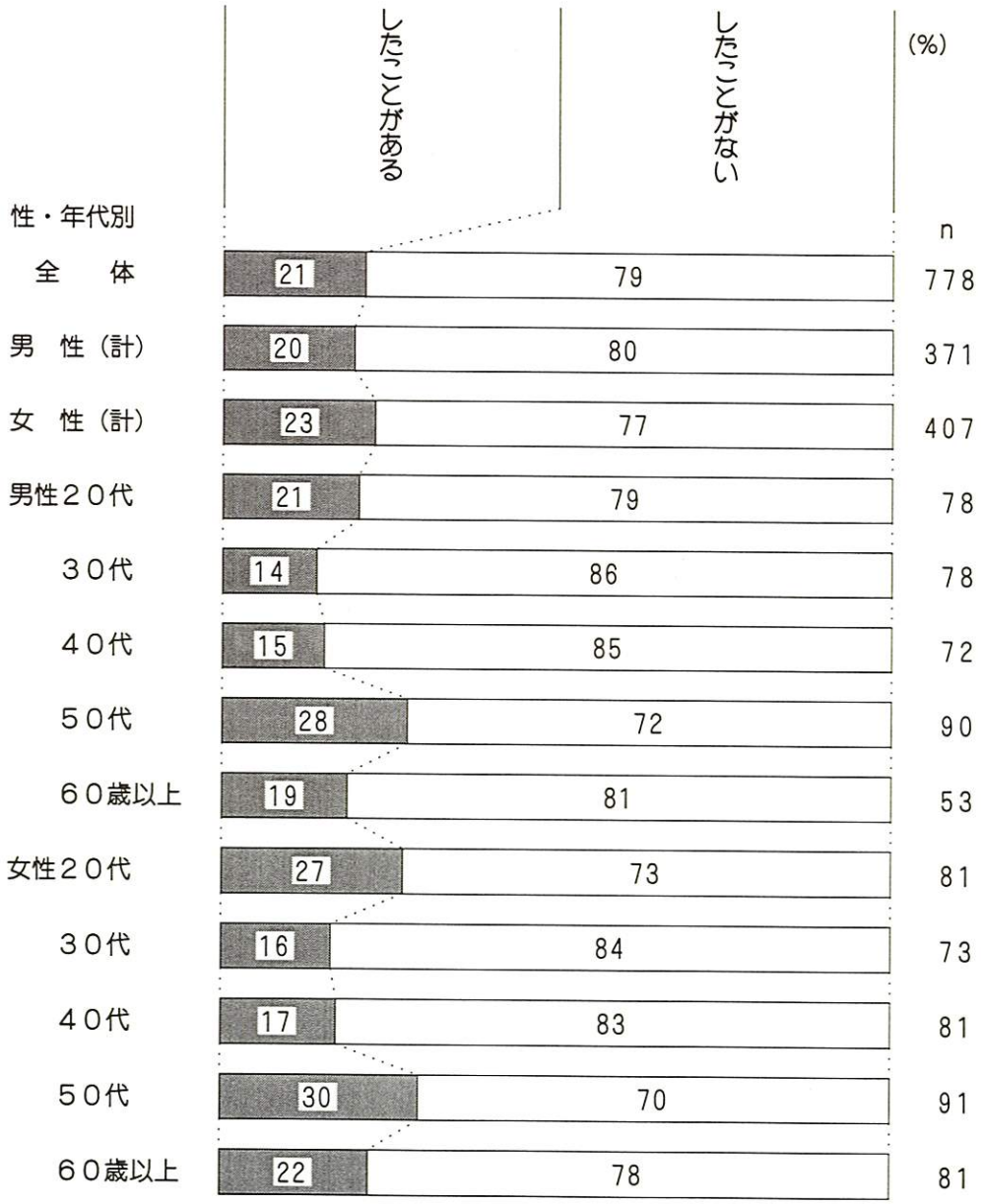
（図６－３－２）

図6－3－2　ボランティア活動の経験－時系列



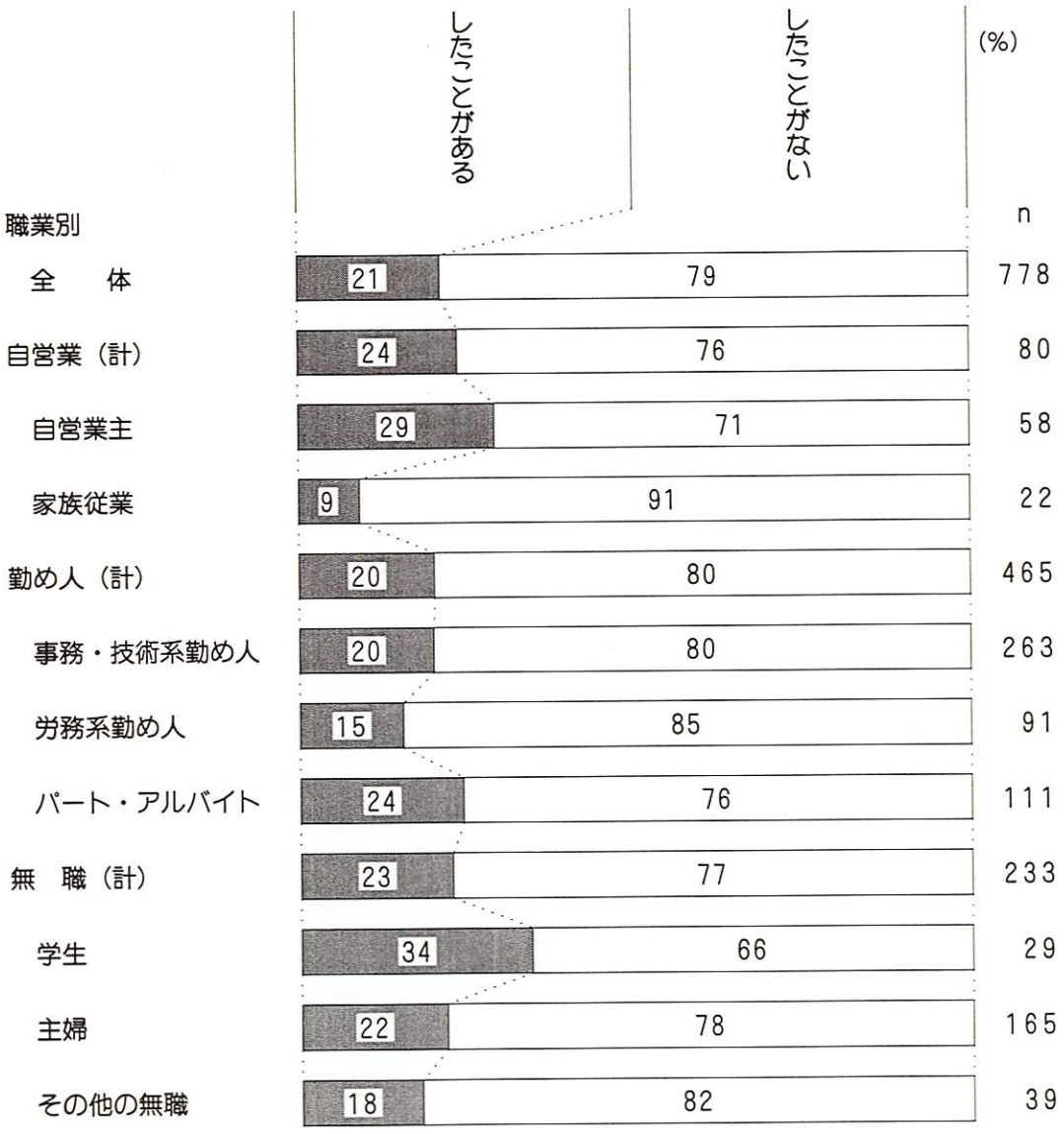
性・年代別にみると、「したことがある」は男性（20％）より女性（23％）の方が多く、特に女性の20代（27％）と50代（30％）、男性50代（28％）で高くなっている。（図６－３－３）

図6－3－3 ボランティア活動の経験－性・年代別



職業別にみると、「したことがある」は、学生（34％）、自営業主（29％）が他の職業に比べて高くなっている。（図６－３－４）

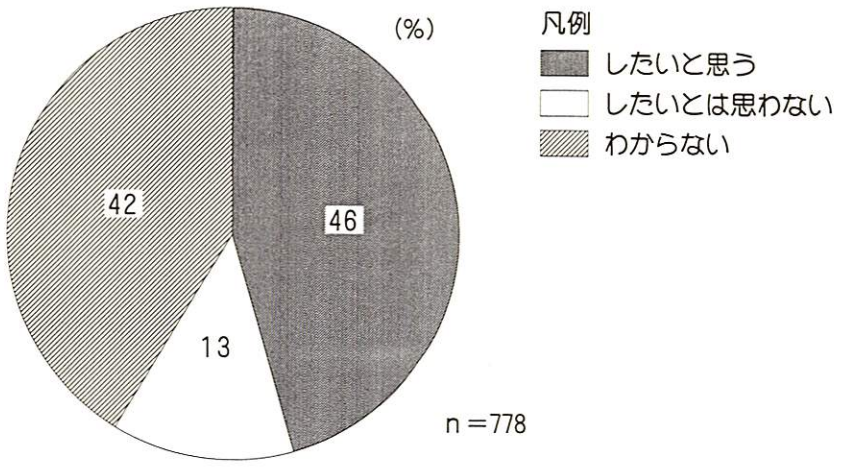
図6－3－4　ボランティア活動の経験－職業別



６－４．ボランティア活動の意向

問 14. 今後、ボランティア活動をしたいと思いますか。（１つだけ）

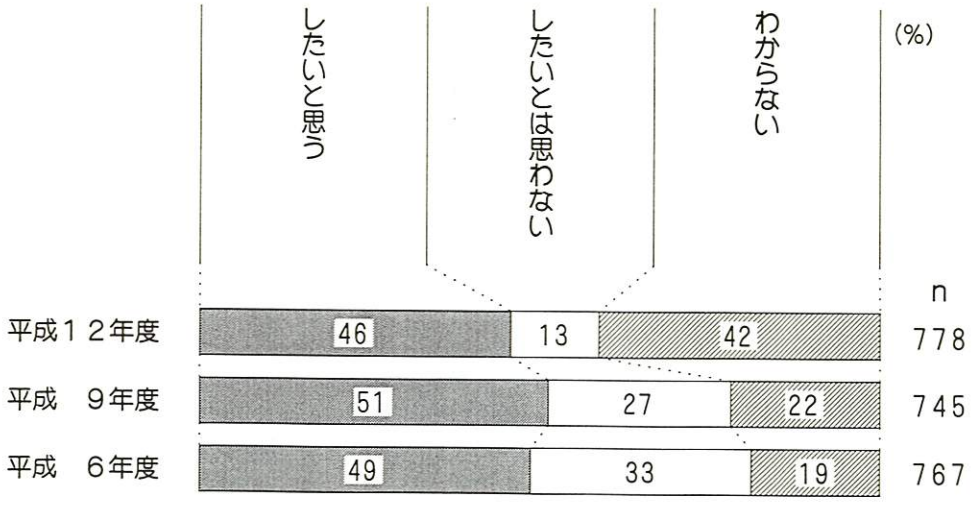
図6－4－1



今後、ボランティア活動をしたいと思うかたずねたところ、「したいと思う」が 46％となっており、「したいとは思わない」の 13％を大きく上回っているが、「わからない」が 42％と目立っている。（図６－４－１）

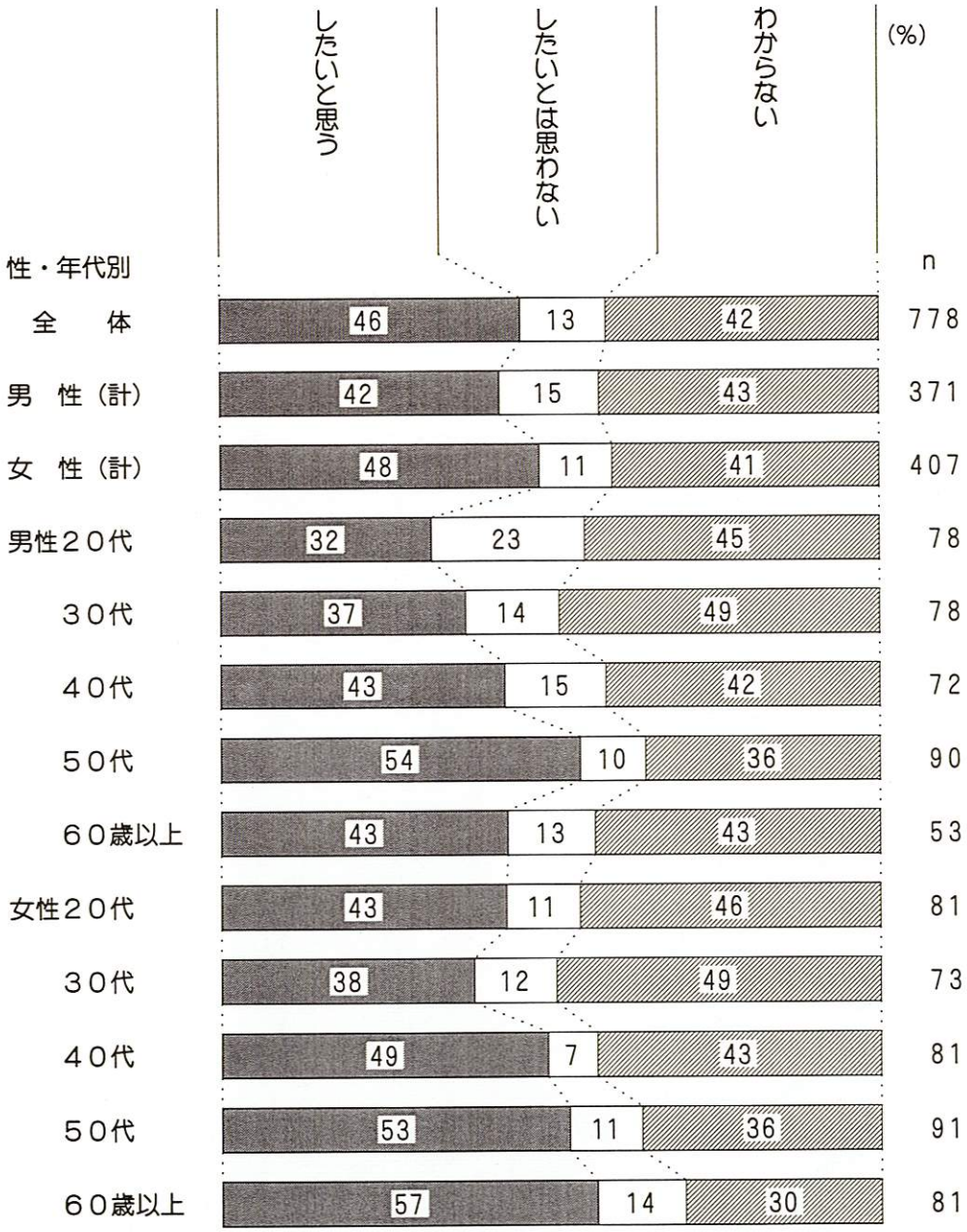
平成９年度の調査と比較すると、「したいと思う」の割合が５ポイント減少しており、「わからない」が 20 ポイント増加している。（図６－４－２）

図6－4－2 ボランティア活動の意向－時系列



性・年代別にみると、「したいと思う」は、男女ともすべての年代で「したいとは思わない」を上回っているが、男性20代において「したいとは思わない」が23％と他の年代に比べて高くなっている。（図６－４－３）

図6－4－3 ボランティア活動の意向－性・年代別



職業別にみると、「したいと思う」は、すべての職業において「したいとは思わない」を上回っているが、その中でも自営業主（52%），労務系勤め人（53%），学生（52%）で5割を超えている。（図6－4－4）

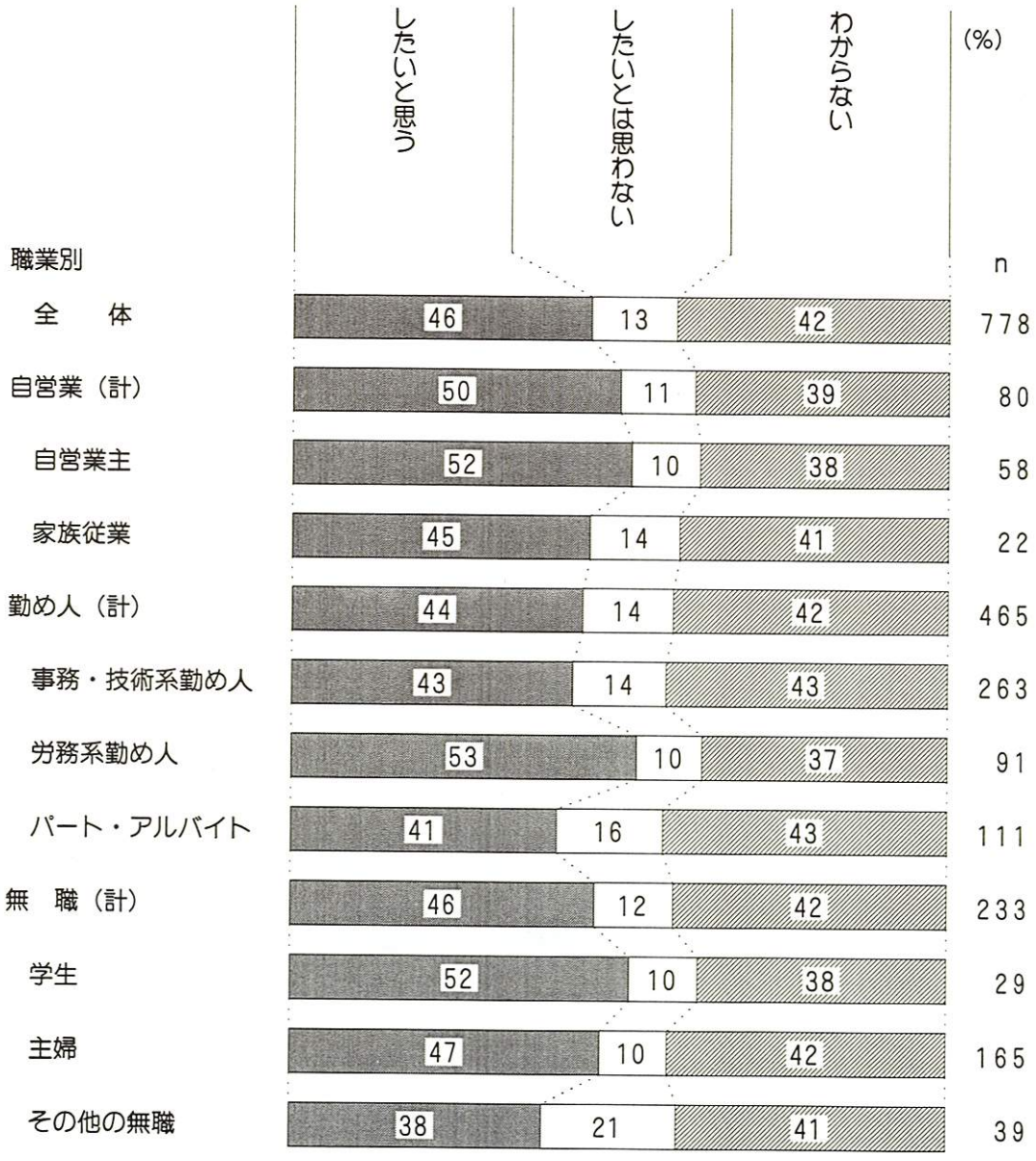



図6－4－4 ボランティア活動の意向－職業別